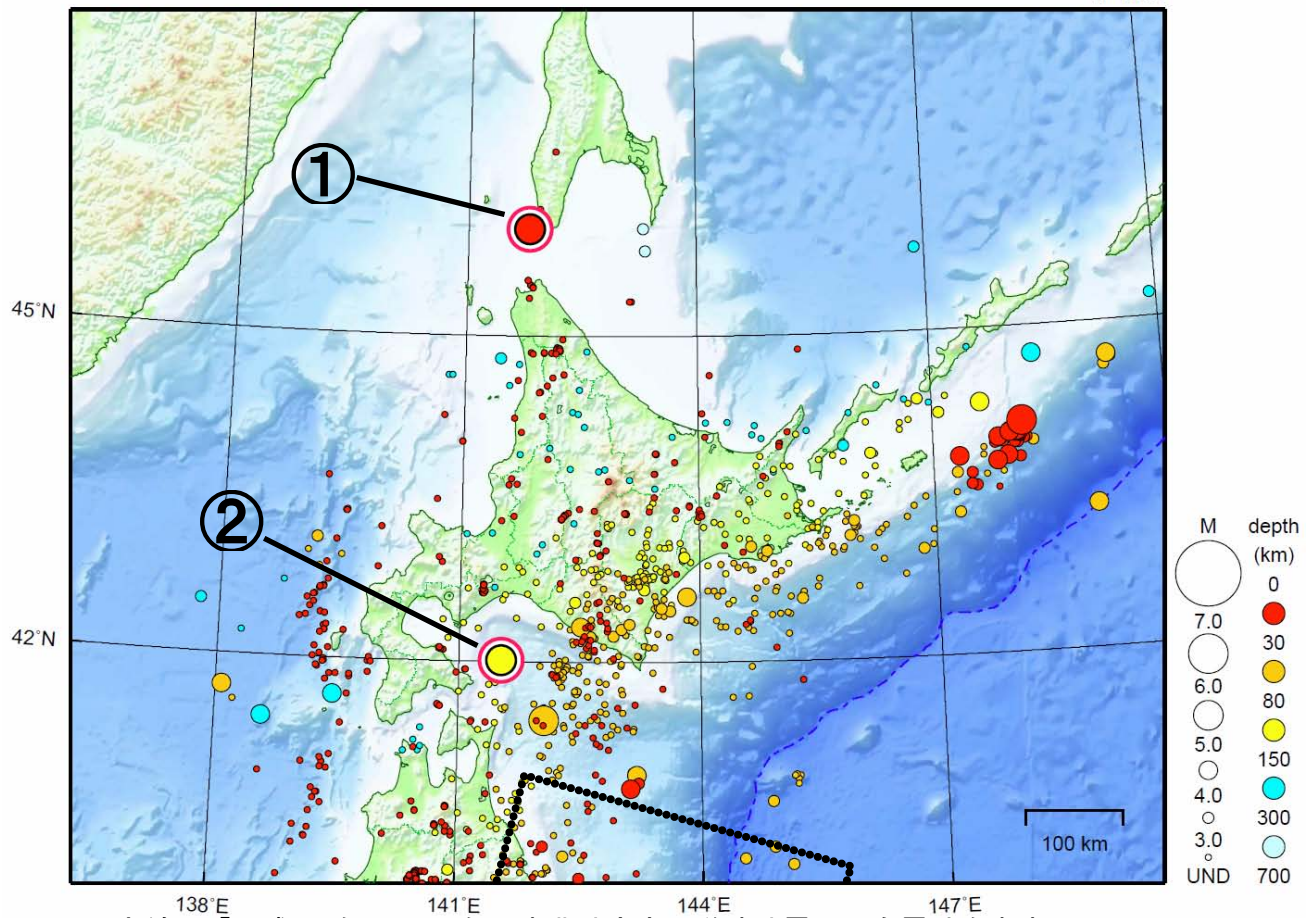


北海道地方

2013/11/01 00:00 ~ 2013/11/30 24:00

N=1030



※ 点線は「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」の余震域を表す

地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

- ① 11 月 25 日に宗谷海峡で M5.2 の地震（最大震度 3）が発生した。

気象庁はこの地震に対して[サハリン西方沖]で情報発表した。

- ② 11 月 28 日に苦小牧沖で M5.0 の地震（最大震度 3）が発生した。

（上図範囲外）

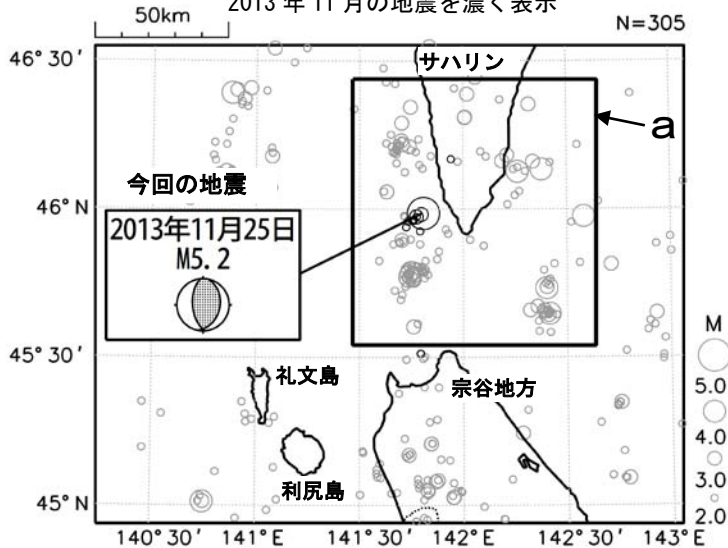
11 月 25 日に千島列島で M6.0 の地震（日本国内で震度 1 以上の観測なし）が発生した。

[上述の地震は M6.0 以上または最大震度 4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度 3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度 3 以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

11月25日 宗谷海峡の地震

情報発表に用いた震央地名は〔サハリン西方沖〕である。

震央分布図(1997年10月1日～2013年11月30日、
深さ0～40km、 $M \geq 2.0$)
2013年11月の地震を濃く表示

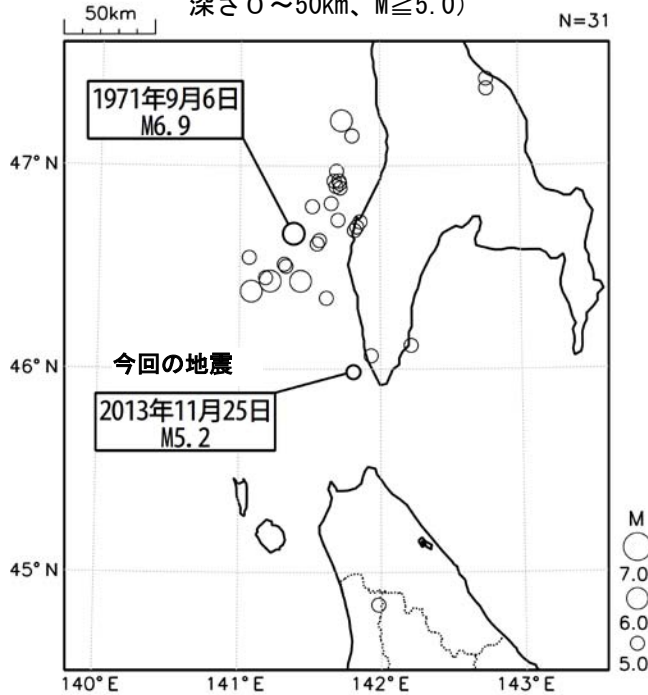


2013年11月25日12時23分に宗谷海峡でM5.2の地震(最大震度3)が発生した。この地震は、地殻内で発生し、発震機構は東西方向に圧力軸を持つ逆断層型である。今回の地震の震央付近では、24日から25日にかけてM2.0以上の地震が10回発生した。

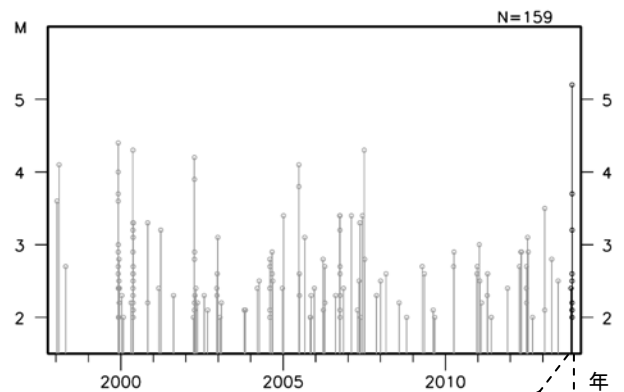
1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域a)では、M4.0以上の地震が時々発生している。

1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(左中段の震央分布図の範囲)では、1971年9月6日にM6.9の地震(最大震度3)が発生し、この地震により、北海道の岩内港で津波の最大の高さ35cmを観測するなど、北海道の日本海沿岸とオホーツク海沿岸で津波を観測した。

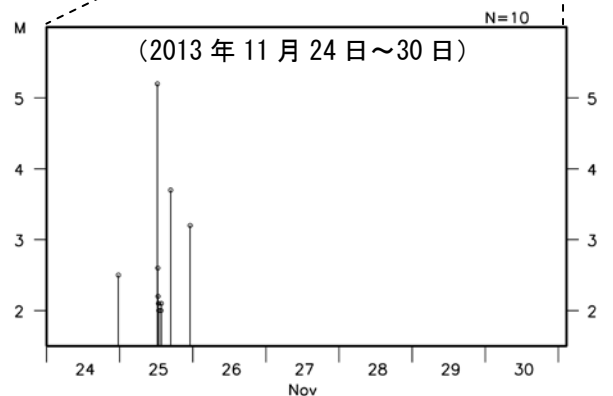
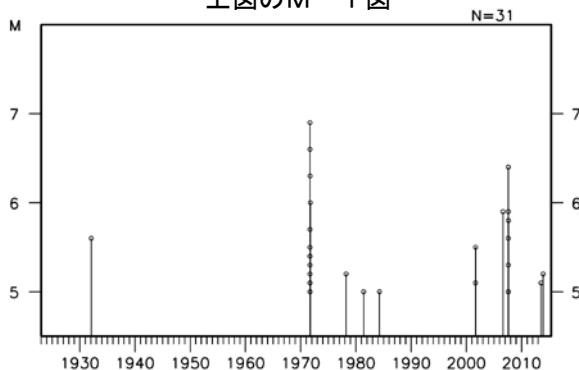
震央分布図(1923年1月1日～2013年11月30日、
深さ0～50km、 $M \geq 5.0$)



領域a内のM-T図

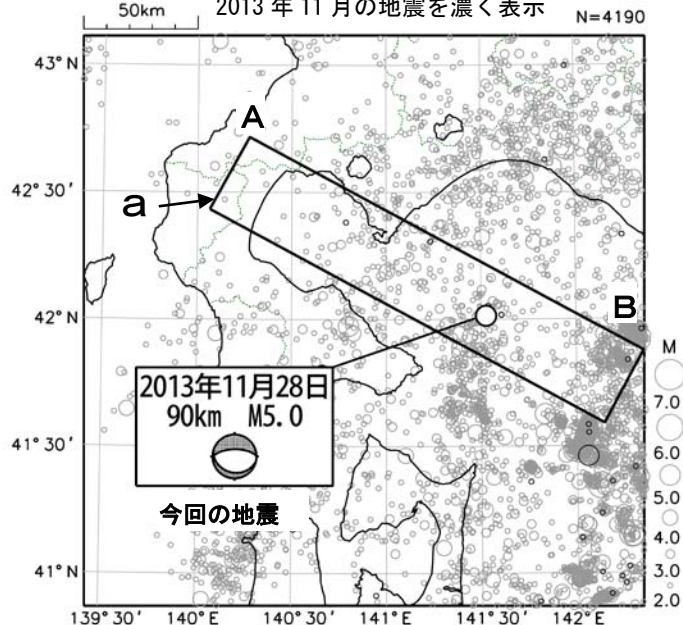


上図のM-T図



11月28日 苫小牧沖の地震

震央分布図(1997年10月1日～2013年11月30日、
深さ30～180km、 $M \geq 2.0$)
2013年11月の地震を濃く表示 N=4190

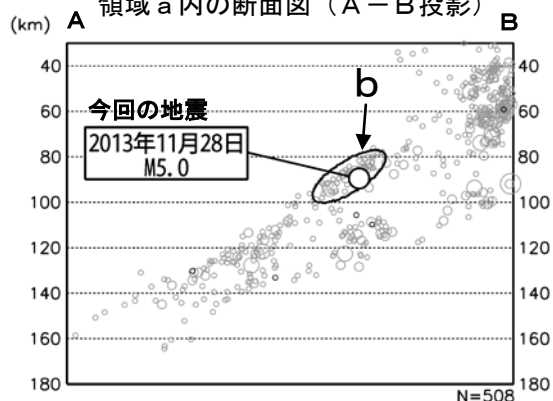


2013年11月28日02時45分に苫小牧沖の深さ90kmで $M 5.0$ の地震（最大震度3）が発生した。この地震は、太平洋プレート内部で発生し、発震機構は南北方向に張力軸を持つ正断層型であった。

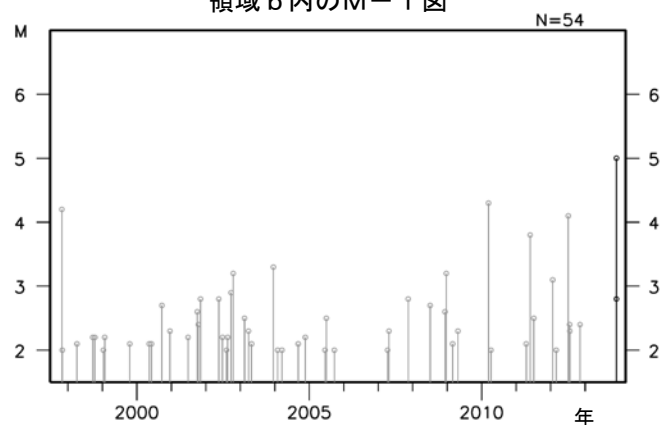
1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近（領域b）では、 $M 4.0$ 以上の地震が時々発生している。

1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、 $M 6.0$ 以上の地震が時々発生している。1981年1月23日に発生した $M 6.9$ の地震（最大震度5）で、水道管破損などの被害が生じている（「最新版 日本被害地震総覧」による）。

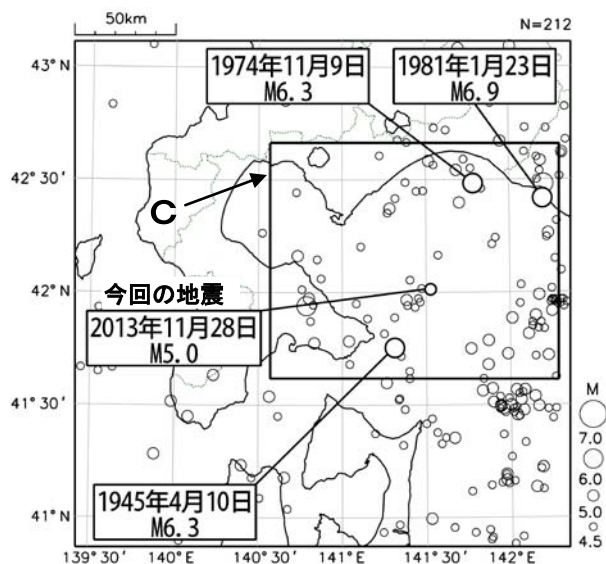
領域a内の断面図（A-B投影）



領域b内のM-T図



震央分布図(1923年1月1日～2013年11月30日、
深さ70～200km、 $M \geq 4.5$)



領域c内のM-T図

